


2026.03.25

## 第１回意見交換会(2026.2.13 開催)のまとめ

第１回のワークショップで出された全ての意見を分類・整理し、内容ごとにまとめました。
各文末の（赤）（青）（緑）は、意見が出されたテーブルの色分けをあらわしています。
「※」のついた文章で、支援役による補足説明と、みなさんに聞きたいことを記しています。
今回の成果は、次回以降の意見交換会で常にふり返る「ネタ帳」としてご活用ください。

### ■　現在のばら苑の個性・魅力と残したいこと、失くしたくないことについて

**○　人工物を隠し四季の変化が楽しめるばら苑周囲の緑を大切に**

- 現在、周囲に人工物がなく、「天空のばら苑」「秘密の花園」とも呼ばれる（緑）
- 周囲の林やサクラなどの木々から四季の変化が楽しめる（緑）
- 今のばら苑は緑に囲まれて人工物が見えないのがよい（緑）
- 生田緑地の豊かな緑を損なわないデザインに（緑）
- コンクリートだらけにならない（緑）

**○　ばら苑全体を見渡せる場所を残してほしい**

- 階段を登った先に全体を見わたせる場所（赤）
- 今のバラ苑は全体が見渡せる場所があるのがよい（緑）
- 沈床式庭園※であることをお忘れなく（緑）

※　沈床式庭園とは：周囲の地盤より一段低く掘り下げて造られた西洋式庭園。周囲から見下ろす構造で立体感や開放感を生み出す効果があります。


沈床式庭園の例：ブチャート・ガーデンズ(カナダ)

**○　「ゆったりとした余裕を持つ」ことがこのばら苑の魅力**

- ゆったりと見ながらまわれる苑の余裕がいい。ごちゃごちゃしていない（赤）
- ゆったりしたばら苑がよい（赤）

**○　全体のランドスケープと丘陵地の地形、自然を維持してほしい**

- 全体のランドスケープの保全を（緑）
- 周辺部は、丘陵地の地形と自然の秩序を維持する（青）
- 周辺部、土地を造成した後、丘陵地の自然の秩序を反映するように再造成する（青）
- 土量は博物館も含め、切り盛りのバランスを図る（青）

### ■　より良くしたいこと、変えたいことについて

**○　ばら苑内のバリアフリーを徹底し、すべての人が楽しめる場所にしてほしい**

- バリアフリーのばら苑（赤）
- すべての人たちが楽しめる場所（緑）
- 足の悪い人も来られる所（緑）
- 幼児から高齢者、車いすの方も楽しんでくださっている。通路をフラットに、幅広く（緑）

- 車いすのために苑内のバリアフリーを充実させる（青）
- 車いすで巡れること。車いすで香りをかげること（赤）
- 車いすでも通れる道を（緑）
- もちろんバリアフリー（緑）
- 手すりがあると歩きやすい（赤）
- 視覚障碍者用点字ブロックを導入してください（緑）
- 若い家族のための設備を。授乳室など（緑）

○ **生田緑地憲章に基づき生田緑地の自然と共存するばら苑をめざしてほしい**

- 整備にあたっては生田緑地憲章※に基づいた計画を望みます（緑）

※ 生田緑地憲章とは：「私たちは、生田緑地の自然や歴史文化を大切にし、さらに楽しく気持ちよく利用できるよう協働により、生田緑地の良好な管理に努めます。私たちは、生田緑地の自然のいとなみを守るため、生き物を持ち出したり、他の地域の生き物を持ち込んだりしないようにします。（2007 年 3 月 生田緑地を愛する市民一同、生田緑地管理運営協議会）」

- 植栽するバラと自生種に雑種ができるのではないか（青）
- 生田緑地の在来種（在来の系統※）もみせる対象とする（青）

※ 在来の系統とは：その地域の気候や土壌に適応し、独自の遺伝的特性を持つ生物群です。これらはその土地特有の遺伝的多様性を保持しており、外来種や他の地域からの系統が導入されると、在来の系統と交雑し、遺伝的撹乱が発生する恐れがあります。バラ属植物で生田緑地に在来の系統にはノイバラなどがあります。

- 地球の負荷を少なく、省エネで少予算で（緑）
- 循環型社会を生かしたばら苑。堆肥作りも（赤）
- （現在活用されていない）堆肥ピットを新設して活用する（循環プログラム）（青）
- 腐葉土から出てきたカブトムシの幼虫を来た子どもにあげる（緑）
- 鳥を集めるため、ローズヒップのなるバラを植える（赤）
- やぶを残して！（きれいなやぶを）野鳥のために（青）
- 夜の生き物のために夜の光に注意してほしい（緑）
- 生田緑地の動物群集（ポリネーター）が一部は利用できる植栽にする（虫の眼に見えるバラ）（青）
- ポリネーター※を集める品種は他の地域のポリネーター不足をもたらす（青）

※ ポリネーターとは：「花粉媒介者」の意で、植物の花粉を運んで受粉させ、花粉の雄性配偶子と花の胚珠を受精させる動物の総称です。身近なポリネーターにはミツバチなどの昆虫類やメジロなどの鳥類があります。

- 今は問題がみつかっていなくても、後になってみつかることがある（青）
- （導入する植物は） 1 品種、 1 品種検討する※（青）

※ 導入する植物を検討する際のポイントには、在来の系統との交雑により遺伝子攪乱が生じる恐れはないか、種子散布や栄養繁殖により苑外に逸出して野生化する恐れはないか、などがあります。次回はこの件を含め、自然と共生するばら苑のあり方についてもみなさんと話し合いたいと思います。

○ **周囲の樹林を順応的に管理する植生計画が必要**

- 周辺部の植生管理計画を立て、順応的に管理する（青）
- 生物多様性に配慮した植生計画にしてほしい（緑）
- 草地（在来の系統）を設ける。刈り取り管理する（青）
- 草刈りの刈草を刈敷として肥料にする（青）

○ **できるだけ薬剤に頼らない病害虫防除をめざしてほしい**

- 薬剤にできるだけ頼らないバラ作り（赤）
- 薬剤管理が必要な古い時代のバラと、最近の耐病性のあるバラのエリア分け。時代別にもなるし、管理もしやすくなる（赤）
- 生き物のためには減農薬。もみじ谷の水場。小鳥の住める森（緑）
- 低農薬を心がけてほしい（緑）

■ **テーマ性のあるエリア設定について**

○ **わかりやすく楽しめるテーマでばら苑各コーナーを構成してほしい**

- 各コーナーの特性がわかりやすいようにしてあるとよい（赤）
- バラの区分けを見た方が楽しめるようにしてほしい。色分け、香り分け、血筋分け、テーマ分け、イメージ分け、名前分けなど（赤）

○ **バラの多様な香りを楽しめるよう配植や仕立て方などに配慮してほしい**

- バラの香りをアピールしている（赤）
- バラの香りに包まれるほどの植栽と株数（赤）
- バラの香りがかげる高さのばら苑がよいです。植えた苗が大きすぎない方がよい（赤）
- お客様も比較的自由にバラにさわることができ香りを楽しめる（赤）
- 香りのバラめぐりができる植え方。一巡りして８つの香りを堪能できること（赤）
- 早朝開苑で香りを楽しんでほしい（緑）

○ **歴史的名花を作出史に沿って配植したオールドローズコーナーを活かしてほしい**

- オールドローズが多種、時代毎に集められています。原種も含めその形式のまま残してほしい（赤）
- ばら苑ボランティアのコーナーの継承（オールドローズコーナー）（赤）
- オールドローズのコーナーが好きです。いくつかのアーチ。（赤）
- ボランティア・ガーデン奥のノイバラが滝のように咲いている景色（赤）
- 村田晴夫先生のつるバラコーナーを残してほしい（青）

○ **世界の王室や皇室にちなむ名を冠したバラを集めたロイヤルコーナーを活かしてほしい**

- ロイヤルコーナーはお客様にアピールできる場所（赤）

○ **広々とした芝生のあるばら苑であってほしい**

- 芝生のあるばら苑（赤）
- 芝生地で子どもが走り回れる場所も（赤）
- 芝生の広場（緑）
- 芝生地が多いばら苑であってほしい（青）
- 広々とした緑で美しい芝生。（青）
- 幼児・子ども達の広場も必要（青）

○ **西門外側の「バラの道」の魅力を向上したい**

- 西門のバラの道をもっと整理して魅力的にしたい（赤）

○ **新たな魅力づけのアイデア**

- 強いバラ、年間を通して咲くバラのコーナーをつくる（赤）
- 強い品種、新しい品種のエリア（緑）
- 綾瀬（あやせローズガーデン）のようなバラ中心の色のコーナーで植栽してほしい（緑）
- イングリッシュガーデンコーナーをつくって、そこにカフェがほしい（緑）

■ **バラの植え方などの見せ方について**

○ **バラと他の植物を組み合わせ、四季を通じて花を楽しめるようにしてほしい**

- バラ以外の植物をもっと植えて四季を楽しみましょう（緑）
- バラのない季節の見どころもほしい（宿根草など）（緑）
- バラだけではなく色々な花（緑）
- 一年を通して花がある（緑）
- バラだけでなく他の草花も多数植える。年中開花する（青）
- バラの横に宿根草などのエリア花壇、花の通路（赤）
- イネ科の大株（オーナメンタルグラス）を骨格に球根のコーナーも（バラではないですが）（青）
- イングリッシュガーデンとの差別化。ばら苑と呼べるように（※1）（赤）
- バラが主役、わき役に草花、その風景が好き（※2）（赤）

※ 「バラ以外の植物も加えた四季楽しめるガーデン」を求める意見があった一方で、「ばら苑と呼べるように」という意見（※1）もありました。次回はこの件についてもみなさんと話し合ってみたいと思います。「バラが主役、脇役に草花」という意見（※2）がヒントになるように思います。また、バラの系統や品種によって他の植物との混植に向き不向きがあり、それぞれに適した配植や見せ方があるため、どちらか一方を選択するということではありません。



主役となるバラと脇役の草花の花色を同調させた配植例：中之条ガーデンズ

○ **多様な樹形や仕立て方でバラを見せる工夫を大切にしてほしい**

- 樹形が豊富。スタンダードづくり、シュラブのつる仕立て（赤）
- 比較的ほどよいバラの高さを維持できていた（赤）
- 雑木林の高木につるバラをからませる修景の工夫（青）
- 懸崖作り、ウィーピング作り（鉢？）を植えてほしい（赤）

○ **だれもがすべてのバラの香りをかげるよう植え方を工夫してほしい**

- イングリッシュローズの植え方。香りのよいイングリッシュローズが、香りのかぎにくい植え方になっている（赤）
- 香りのバラを通路側に出す（緑）

○ **根頭癌しゅ病などの病害が広がらないよう配植に配慮してほしい**

- 今後のばら苑は根頭癌しゅ病などの病気が広がらない配慮を（緑）
- 健全なバラと病巣のあるバラをすみ分けて共生する（緑）
- 病気のバラは処分（緑）

○ **ばら苑を彩ってきた花木の存在にも着目してほしい**

- サクラやコブシなどの大きな花木（緑）
- 中木の花木がある（緑）

○ **ばら苑外周の斜面地を今以上に活用してほしい**

- 新しいばら苑は、ミニチュアローズとパーゴラの間の斜面を通路（バラなど植える）などで活用すべき（青）

■ **ばら苑へのアクセスについて**

○ **ばら苑に至るアクセスをシークエンスとして演出してほしい**

- 取り付け道路なども含め、風景のシークエンス※を意識する（青）

※ シークエンスとは：一般には「連続」「順序」という意味を持ち、景観設計では「移動することで変化する景色」をいいます。

○ **アクセスの悪さを改善してほしい**

- 今計画中のアクセス道路をつくってもアクセスが悪すぎる。より一層の工夫を（緑）
- タテ・ヨコの移動を楽に。もちろん外周からの移動も（緑）
- 歩いて行くのがしんどい（緑）
- ばら苑へのアクセス。特に 114 段の階段をなくしてほしい（赤）
- ばら苑までの道（坂道、階段）が緑の中を歩くのはよいけど、子ども連れ、車いす、老人でも来られるよう、車がなくても上がれるとよい（赤）
- ばら苑へのアクセス。車いすでの入苑を考慮してほしい（赤）
- 乳母車での入苑のためのアクセス路。専用置場（赤）
- 車でのアクセス路の拡大。府中街道以外から入苑できるアクセス路（赤）
- アクセスの悪さがどのように改善されるのか、いつも答えがない不安（緑）
- アクセスのよいこと（緑）

○ **利用できる交通機関を充実してほしい**

- ばら苑までのアクセス。交通機関も検討し、車いすでも楽々（青）
- 藤子不二雄ミュージアムのバスを伸ばしてミュージアムまで来るようにする（赤）
- 向ケ丘遊園駅からばら苑までのバス便（赤）
- 電気自動車で上まで行ける（青）
- 観光バスで乗り付けられること（赤）

○ **既存の駐車場の問題点**

- 雨が降ると、水たまりができて駐車できなくなる。改善してほしい（赤）

■ **これからのばら苑にほしい施設**

○ **フォトスポット**

- フォトスポットを作る（赤）
- フォトスポットを増やす（赤）
- トルソー型のトレリスでバラのドレスを着たように写真が撮れるスポット（赤）

○ **休憩スポット**

- 木陰がわりになるようなガゼボ、ミュージアム側に木陰多く。無料休憩所（赤）
- 日陰、ベンチ。人間の休めるところ（赤）
- 来苑者が休める日陰の確保（赤）
- ちょっと休める場所を（緑）
- 休憩スポットをたくさん作ってほしい（緑）
- 休める場所があること（緑）
- スマホの通信状況が良い涼しい場所（青）

○ **屋内施設**

- 日陰、雨が降ったときに逃げこめるところがあるとよい（赤）
- ばら苑専用の屋内スペース（赤）

- 天候に左右されない施設づくりをしてほしい（緑）
- 雨の日も楽しめる（緑）

○ **ベンチ**
- ベンチをたくさん置いてほしい（緑）
- ちょっと休めるイスや木陰を（現在のばら苑は座る所が少ない）（緑）
- ミニバラコーナーにもっとベンチがあるとよい（赤）
- 園内までのアクセス路の所々にベンチ（赤）

○ **バラを誘引する施設**
- つるバラの映える構造物（赤）
- ランブラーローズを使ったパーゴラ式の回廊（赤）
- 日本一とは無理なので、バラのアーチがほしい。（緑）

○ **水景施設**
- カスケード（水流）を復活してほしい（緑）
- ばら苑の中に水をいたるところに活用してほしい（青）
- （ビー玉ではなくて）豊かな水景を復活させてほしい（青）
- 水路（青）
- 水辺、噴水（赤）

○ **飲食・物販施設**
- 飲食スペースも充実させる（青）
- 食事を目的に訪れるくらいのクオリティのレストランを（青）
- 新しいばら苑にふさわしい、ちょっとグレードの高いレストランがほしい（緑）
- カフェがほしい（緑）
- ランチの安い店（緑）
- キッチンカーはいらない（緑）
- バラ株を持ち帰れる専用コーナー（見本苑？）（赤）
- 一般には売っていないバラの苗の販売（赤）

○ **便益施設**
- 多目的トイレ（緑）

○ **修景施設**
- 花時計（緑）
- 富士山のオブジェ、太陽の塔のオブジェがほしい（緑）

○ **遊戯施設**
- 子どもが飽きずに遊べるコーナーがあると、保護者がゆっくり鑑賞できます（緑）
- 小さな子どもの遊べるスペース（緑）
- 池はいらないが、水遊びができる場所は OK（緑）

○ **管理施設**
- 真夏の水不足やハダニ対策に対応できる苑内各所に水道施設（赤）
- 水切れしないように苗の所に散水ホースを整備してほしい（赤）
- 捕植用、管理など行えるバックヤード施設（赤）
- 水やりの施設（赤）
- ナーセリーや苗圃が必要（青）

○ **サイン・展示施設**

- 樹名板（株元のプレート）が充実している（赤）
- バラの種類やそのバラについての説明が「ふだ」であると来た方が楽しめる（赤）
- 小田急時代からのばら苑の歴史を知ることができる展示（青）
- 看板や（思想）メッセージをおしゃれに（例：マンチェスター・ガーデン・シティ・プロジェクト※）（青）

※ マンチェスター・ガーデン・シティ・プロジェクトとは：都市をより緑豊かにする長期的な取り組みであり、イギリス・マンチェスター市中心部の人と野生生物のために、公共・民間の組織を結集し、生物多様性のある環境を創り出すことを目的としています。



マンチェスター・ガーデン・シティ・プロジェクトのサインの例
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:National_Trust_Castlefield_Viaduct_Urban_Park_-_geograph.org.uk_-_7423570.jpg

■ **バラの品種コレクションについて**

○ **既存コレクションの価値と魅力を継承してほしい**

- 広範囲な品種数がある。モダンローズ、オールドローズ、HT、FL、ミニチュア、原種。殿堂入りのバラ、香りのバラ、つるバラが多い。先祖返り（？）、一重（赤）
- バラの歴史に沿って野生種、オールドローズもあり、誇れるところである（赤）
- つるバラ、ランブラーなどで、現実から離れた夢空間ができていた（赤）
- ランブラーなど、個人の庭では実現できない景色が作れている（赤）
- HT で歴史的に重要な株がある（赤）
- 一重のバラのコレクションも多く、お客様にバラの概念を広げてもらえた（赤）
- ばら苑の規模は変えずに、バラ株数を維持してほしい（赤）
- 今のバラ株を残したい。既存バラの継承（赤）
- 貴重なバラは保存してほしい（緑）
- 今ある品種（850）をできるだけ多く残したうえで追加してほしい（青）
- 私を捨てないで！（緑）

○ **コレクションを充実してほしい**

- 秋に返り咲くつるバラを増やしてほしい（赤）
- 原種のバラを増やしたい。特に暑い国に自生するもの（緑）
- 河本バラ園作出のバラ品種をがんばって育ててほしい（青）

○ **残してほしい品種**

- ばら苑にしかない、または他にあまりないバラを残す（緑）
- 他のバラ園にない歴史的なバラがあり、残してほしい（赤）
- 生田ばら苑に残っている昔ながらの‘ピース’※。現在市販されているものは、色の変化が出てしまい、本来の色ではないということで（赤）
- 有名であちこちにあるが、‘ピース’は本来の色形を残して貴重。日本ばら会講師のことば（緑）



‘ピース’

※ ‘ピース’とは：巨大輪の先駆的品種で 1945 年に命名された 20 世紀を代表する傑作品種。世界バラ会議「栄光の殿堂入りのバラ」の最初の品種です。

- 数々の名花を生んでいる今は無きナーセリー「マグレディ※」のバラ。生田には他園にはない程の数のマグレディのバラがある（赤）

※ マグレディとは：北アイルランド発祥のバラ育種家で2代目サム・マグレディが 1895 年頃からバラ育種を開始。ハイブリッド・ティー全盛時代に多大な成功を収めました。4代目の 1972 年にニュージーランドに移住しました。



マグレディのバラの例：‘マーガレット・マグレディ’

- イングリッシュローズ※のカタログ落ち品種を残す（赤）

※ イングリッシュローズとは：イギリスのバラ育種家デヴィッド・オースティンが作出したバラの総称。オールドローズの特徴と香りを持ちつつ、モダンローズの四季咲き性と幅広い色合いを持ち、他の植物と混植するガーデンローズの流行を先導しました。現在、初期の作出花の多くが日本で廃盤（生産終了）となっており、入手困難な状況となっています。



廃盤イングリッシュローズの例：‘ウィリアム・モリス’

- 一重のバラをまとめて見てほしい（緑）
- ハコネサンショウバラ。生き残りたい（バラの気持ち）（緑）
- サンショウバラ※、‘ピース’、‘スヴニール・ドゥ・アンネ・フランク’※などを残してほしい（緑）

※ サンショウバラとは：別名、ハコネバラともいい、本州の神奈川県、山梨県および静岡県にまたがる富士・箱根地区に分布し、山地に生育します。

※ ‘スヴニール・ドゥ・アンネ・フランク’とは：品種名は「アンネ・フランクの形見」の意で、バラが好きだったアンネ・フランクに捧げられました。「アンネのバラ」、あるいは「アンネの思い出」とも呼ばれます。1960 年登録。



サンショウバラ

- ‘ピエール・ドゥ・ロンサール’※推し（緑）
- 薪棚にからむ‘ピエール・ドゥ・ロンサール’が育つのを見たい（赤）

※ ‘ピエール・ドゥ・ロンサール’とは：フランスのルネサンス詩人ピエール・ド・ロンサールにちなんで命名されました。1985 年発表。2006 年に世界バラ会議「栄誉の殿堂入りのバラ」に選出されています。



‘ピエール・ドゥ・ロンサール’



‘スヴニール・ドゥ・アンネ・フランク’

○ **稀少な品種を消失しないようバックアップの仕組みをつくってほしい**
- 他のバラ園と希少種のバックアップをしあうなどの連携の仕組み（青）

○ **バラの品種コレクションの一覧と植栽位置を来苑者に提供してほしい**
- 外部への植栽一覧の提供（神代植物公園のような※）（赤）

■ **ボランティア活動について**

○ **ボランティアが支えてきたばら苑であることの価値を受け継いでほしい**
- ボランティアがかなりの部分を担っていたことが評価されていた（赤）
- 新たなボランティア体制で、ボランティアは今までと同じように残してほしい（赤）
- 新しくなってもボランティアが剪定できるようにしてほしい（緑）
- 市民、住民の要望で設けられたこと、その後も住民、ボランティアが関わってきた歴史も魅力（緑）
- ボランティアを入れるなら剪定・誘引も（青）
- 体の不自由な方でも関われるボランティア作業（青）

○ **来苑者に好評だったボランティア・ガイドを続けさせてほしい**
- ガイドボランティアが居ること。しかも、ガイド内容にボランティアの個性が出せること（台本の読み上げでない）（赤）
- バラのガイドは好評だった（赤）
- ガイドの回数やテーマを増やす（赤）
- 体の不自由な方向けのガイド（赤）

○ **ボランティア活動を支える仕組みをつくりたい**
- 今までのボランティア・スケジュールは余裕があって参加しやすかった（赤）
- ボランティア会則の改定。役員の罷免規定、総会の決議規定を設ける（赤）
- 課題を改善・解決していける仕組み（青）
- 参加型市民社会論と行政の協力者の間のせめぎあいが可能なボランティア組織（青）
- トップガーデナーを置き、それに従って作業しつつ、ボランティア内でのステップアップ制度（赤）
- 過剰な権力と権威を持たない指導者とアドバイザー、ガーデナー（青）
- 地元のガーデナーさんをお願いしたい（緑）

○ **ボランティア活動を支える施設を充実してほしい**
- ボランティアが残るのが前提で、更衣室、トイレ、シャワーなど整備してもらえるとうれしい（赤）
- ボランティアさんたちの休憩室も素適な建物でつくってほしい（緑）
- 越後丘陵公園のようなボランティアハウス※を（青）

※ 国営越後丘陵公園のボランティアハウスとは：国営越後丘陵公園「ながおか香りのばら園」の「ばらボランティア」は、ばら園の年間管理作業に関わりながらバラの栽培技術を習得する活動を行っています。主な活動は、ばらの剪定、花がら摘み、除草、誘引などの管理作業のほか、ばら園のガイド補助、専門家を招いた管理技術講習会などです。活動日は 2～12 月の週3回午前中。ばら園隣接地にボランティアハウス（資材倉庫、集会室、更衣室などを含む）が整備されています。

■ **ばら苑の植栽を活用した体験プログラムについて**

○ **次世代を担う児童・若者向けの体験プログラムを充実してほしい**
- 中高生の楽しめるイベントを開催する（緑）
- 子どもたちへ剪定・誘引体験（緑）
- 小・中学校（特に川崎市）の遠足や授業に組み入れてもらう（緑）

○ **バラの栽培技術を学ぶ機会、バラを楽しむ機会を提供してほしい**

- 学ぶことができる所（緑）
- 月に３回はワークショップや講習会をしてほしい（緑）
- 管理に関わる人々にナイフやハサミなど器具類の消毒などのレクチャーをしてほしい（緑）
- 写生大会（緑）
- ばら苑のバラを使ったワークショップは、そのためにバラを切るようなら必要ないと思う※（赤）

※　具体的にはどのような活動をイメージしていますか？次回以降、教えてください。

■ **ばら苑の入苑料の設定や開園の仕方について**

- リピートして来苑しやすいよう、入苑料なしが希望だが、現実で難しいなら季節変動料金制。市民パスなどの優遇制度も（赤）
- 有名な有料ローズガーデンの商業性を見倣わず、市民が気軽に訪れることのできる苑でありますように（緑）
- 川崎市民は入苑料を半額に！（青）
- 入苑料を安くしてほしい（青）
- 無料であること（緑）
- 期間限定の開苑がよい（赤）
- ばら苑のまわりが変わることにより、開苑はバラの時期のみ。柵を整備して入苑を勝手にできないようにしてほしい。有料でも可（赤）
- 期間限定なら、開苑時間の拡大をする（赤）

■ **ばら苑再整備のプロセスについて**

○ **既存バラ株をできるだけ活用してほしい**

- 現在あるバラは極力活用し、廃棄をなくしてほしい（青）
- 新しいばら苑に植え続けることができないバラ株も大切にしてプロセスも誇れるような新しいばら苑づくり（青）
- あのバラたちはどうなるの？という心配の声（青）
- 廃棄するバラがあれば、捨てずに一般市民に分けてほしい（青）

○ **ばら苑内の既存木の活用についても考えたい**

- 今のばら苑の木はどうなるの？移植できるの？（緑）

○ **情報公開を通じて市民への PR と参加機会を充実してほしい**

- プロセスを誇れるような市民の声を取り入れる進め方。情報公開、共有（青）
- デザインはイラストで見て市民が選べる（青）
- 新しいばら苑について、市民への PR が乏しい。もっと広げるべき（青）

○ **ばら苑の設計にあたって生田緑地全体との調和を図ってほしい**

- ばら苑の設計。工事事業者とは別に、力のあるランドスケープアーキテクトを起用して、生田緑地全体との調和を（青）
- 隣接する小田急やミュージアムと連携した計画をつくって（緑）

■ **ばら苑の運営・管理について**

○ **バラに対する知識と熱意がある方に苑長になってほしい**

- ばら苑の苑長は、それなりに知識のある人材がほしい（青）
- バラが好きな人を苑長に（あて職人事ではなく）（青）

○ **除草作業を軽減するための工夫をしてほしい**

- 除草をうまくすること（赤）
- 最初から除草作業のやり方を考えた植え方（赤）
- 除草作業がなくなるような工夫（赤）
- 地下茎で伸びる雑草を土の入れ替え時に取り除いてほしい（緑）

■ **新たなミュージアムについて**

○ **ばら苑からミュージアムの建物が見えない工夫をしてほしい**

- ばら苑からミュージアムの構造物が見えないような植栽（赤）
- 新たなミュージアムの建物がばら苑から見えない工夫を（緑）

○ **ミュージアムでバラ関連展示をしてほしい**

- ミュージアムでバラに関する展示を常時してほしい（赤）
- ミュージアムの一画にバラの歴史、様々な説明コーナーを作ってほしい（赤）
- ミュージアムでバラに関する展覧会を定期的に（赤）
- バラの系統、歴史、交配をたどれるミュージアムの展示と実物が見られる（青）
- ミュージアムに日本におけるバラ園の歴史をひもとくコーナーを（青）

○ **ミュージアムの計画に対する意見**

- ミュージアムは求められているの？来るならこぢんまりと。岡本太郎美術館があるのに（緑）
- 新たなミュージアムに所蔵しきれるの？物量的に（緑）
- 旧ミュージアム設計が水没を予知していなかったようです。新ミュージアムは水没しないように（緑）

■ **支援役につくってほしい資料について**

- ばら苑開苑当時のバラの品種リスト（赤）
- 開苑当時のばら苑が見たい。当時、東洋一と呼ばれたばら苑（赤）
- ばら苑開苑当時の写真（赤）
- 他のバラ園との比較資料。品種数、株数、面積、作業人員、有料無料、通年開放か（赤）

## ワークショップの感想（おつかれさまアンケート）

参加者のみなさまから以下の感想文をいただきました。ありがとうございました。

- ありがとうございました。
- 皆さんのばら苑に対する強い気持ちを感じる事ができました。ボランティア以外の一般市民にも大々的に PR し、多勢参加できるようにしてほしいと思いました。また、バラ株はできるだけ有効活用が大事だと感じました。
- ３つのグループによって特徴があることがおもしろかった。それがドミナントな意見に他のメンバーが影響を受けたのではなく、メンバーの相互作用によるものだとしたら、ワークショップはすぐれた方法だと思った。
- 今後もいろいろな立場の人達の意見、専門的な人達の意見を同等に対応お願いします。
- 皆様と楽しく時間を共有させて頂きました。未来を期待できそうです。広報は広くお願い致します。
- 今日は限られた団体とメンバーなので不要でしたでしょうが、やはり自己紹介とたとえば「ばら苑との関わり」等のひとことが欲しかった。合間、合間の会話が勉強になりました（笑）。この方式は何回もやっているので別の方法を考えて欲しいです。おつかれさまでした。
- お疲れさまでした。できれば１時開始、３時終了くらいが良かったです。他の大きいローズガーデンの写真が用意されていて参考になりました。
- ありがとうございました。こういったワークショップがあってよかったです。意見が通るとうれしいです。
- 自分の持っていたアイデアを全て出すことができて、人の意見を聞くことで新しいアイデアも生まれて活気的でよかった。
- ワークショップ開催ありがとうございます。ばら苑について、現在の姿しか知らないので、開苑時からの景観の写真等を参考にしたいです。
- ワークショップって何をするのか、わからなかったけど、いろんな意見がきけて良かった。
- 新しい生田ばら苑がすこしでもより良くなる事を祈っています。意見がお伝えできて良かったです。
- 頭の中にあるすべてを書いてみること、それを皆で集めて、比べて、まとめることで、考えが広がり、まとまり、とても良い経験ができました。ありがとうございました。
- 不慣れというか、初めてのワークショップで、不安があったが、あっという間に時間が経ち、和気あいあいと楽しく、やる事が出来ました。